学校番号	313

令和５年度　地歴科

教科	地歴	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版「高校日本史Ｂ」　（山川出版）						
副教材等	図説日本史通覧　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を「なぜ」という疑問を持ちながら見る。
・地域の歴史や生活文化など身近な歴史に触れる。
・過去のわが国の歴史を踏まえながら、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史を考察する基本的な方法を理解している。
・日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解している。
・現代の諸課題と歴史を結びつけ、歴史的観点から考察することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近世から現代に至る歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。国家・社会の形成者としての責任を果たそうとする態度が見られる。	近世から現代に至る歴史的過程と生活・文化の地域的特色を多面的に考察している。さらに歴史事象から課題を見出して公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	近世から現代に至る日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。	近世から現代に至る日本の歴史についての基本的事項を、地理的状況や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業での観察 レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	D		
1学期	中世	1．室町幕府の創設	○	○		○	a：建武の新政が短期間で崩壊した背景に関心をもち、室町幕府の成立に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。 b：南北朝の動乱が長期化・全国化した背景、室町幕府の成立過程について考察している。 c：建武の新政をめぐる混乱の状況について、史料からわかる情報を適切に読み取っている。 d：鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の創設にいたる歴史的推移を理解し、室町幕府のしくみや守護による地方支配の様子などに関する知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
		2．倭寇と東アジアの交易	○		○	○	a：中世の東アジア海域で活動した倭寇に関心をもち、東アジアの交易に関する課題を意欲的に追究しようとしている。 b：倭寇の活発な動きを背景に日明貿易や日朝貿易が展開したことを考察し、琉球・蝦夷地を含む東アジア世界について自分の言葉で適切に表現している。 c：倭寇が活動した地域の分布などを，東アジアの地図から情報を適切に読み取っている。 d：倭寇の活動や日明貿易・日朝貿易の展開を世界史的視野から理解し、琉球・蝦夷地との関係を含めて基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
		3・下剋上の社会と戦国大名	○			○	a：自治都市や港町などの中世都市が発達したことに関心をもち、下剋上の社会に関する課題を意欲的に追究しようとしている。 b：下剋上の動向を進めた主体としての民衆の活動の基礎となった産業経済の発達について考察している。 c：惣掟の史料や徳政碑文などの金石文を活用して、惣村の活動や民衆の一揆をめぐる状況に関する情報を適切に読み取っている。 d：産業の発達と惣村の形成について理解するとともに、応仁の乱から戦国の争乱にいたる経緯に関する知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

	近世	ヨーロッパ文化との接触と国内統一 １．ヨーロッパ文化との接触	○			○	a：日本が初めてヨーロッパ文化と接触した歴史的背景に関心をもち、鉄砲やキリスト教の伝来をめぐる課題を追究しようとしている。 b：スペイン・ポルトガルの勢力が東アジア海域に出現した歴史的背景を考察し、大航海時代という世界史的視野のなかにおける日本の位置を自分の言葉で適切に表現している。 c：大航海時代におけるヨーロッパ諸国の動向について、当時の世界地図から必要な情報を適切に読み取っている。 d：大航海時代におけるスペイン・ポルトガルの動向を理解し、鉄砲とキリスト教の伝来に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
		２．織豊政権による全国統一	○	○		○	a：織田信長や豊臣秀吉の統一事業に関心をもち、豊臣政権の政策がもたらした社会的変革に関する課題を意欲的に追究しようとしている。 b：豊臣秀吉が実行した検地・刀狩の目的や結果を考察している。 c：刀狩の実施をめぐる豊臣秀吉の意図やその内容について、刀狩令の史料から情報を適切に読み取っている d：織田信長と豊臣秀吉の天下統一の過程について理解し、検地と刀狩、朝鮮侵略に関する知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
		幕藩体制の成立 1．江戸幕府の成立	○	○		○	a：江戸幕府の成立過程とその組織などに関心をもち，幕藩体制をめぐる課題を意欲的に追究しようとしている。 b：大名統制の特色である参勤交代の意義について考察し，幕藩体制の特色について自らの言葉で適切に表現している。 c：朝廷や寺社に対する幕府の統制をめぐって，禁中並公家諸法度の史料から情報を適切に読み取っている。 d：江戸幕府の成立過程から幕藩体制の形成にいたる経緯を理解し，大名統制や朝廷・寺社統制に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期		2. 身分制度の確立	○		○	○	a：江戸時代の農民の生活を描いた絵画資料に関心をもち，近世社会の身分制度に関して意欲的に課題を追究しようとしている。 b：江戸幕府が農民の統制をはかるために各種の法令を出した背景を考察し，農村における自治について自らの言葉で適切に表現している。 c：近世社会の身分制度の特色をめぐって，身分別人口の構成比グラフや城下町の図などからわかる情報を正確に読み取っている。 d：江戸時代における村や町のしくみや生活について理解し，近世社会の身分制度に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		3. 江戸初期の外交と文化	○			○	a：オランダ・中国・朝鮮・アイヌとの鎖国下の交易について関心をもち，近世の外交をめぐる課題を意欲的に追究しようとしている。 b：江戸時代に鎖国政策が行われた背景を考察し，幕府による貿易の統制やキリスト教の禁止という側面について自らの言葉で適切に表現している。 c：鎖国政策が段階的に進められていったことをめぐり，鎖国令の史料からそれぞれの段階における内容を正確に読み取っている。 d：鎖国政策の特色を理解し，鎖国下におけるオランダ・中国・朝鮮・アイヌとの交易に関して，基本的な知識を身に付けている	定期考査 ワークシート
		幕藩体制の展開 1. 幕政の安定	○			○	a：徳川綱吉が発した生類憐みの令に関心をもち，武断政治から文治政治への転換について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：強圧的な武断政治から学問などを尊重する文治政治に転換した背景を考察している。 c：貨幣改鋳をめぐって金貨成分比の推移を示したグラフから情報を適切に読み取っている。 d：武断政治から文治政治に推移した理由を理解し，徳川綱吉の政治や新井白石による正徳の治に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

		2. 経済の発達	○	○		○	a：江戸時代における交通の発達に関心をもち，経済と産業の発達に関する課題を意欲的に追究しようとしている。 b：全国規模で交通網が発達した背景を考察し，江戸時代における農業や商工業の発達と商品流通の活発化について適切に表現している。 c：江戸や大坂の繁栄を示すものとして，江戸の日本橋や大坂の蔵屋敷を描いた絵画資料や都市人口の表から情報を読み取っている。 d：江戸時代の農業や商工業の発達が交通の発達をもたらしたことを理解するとともに，貨幣制度や金融制度に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		3. 元禄文化	○		○	○	a：井原西鶴や近松門左衛門の文学作品に関心をもち，元禄文化の展開について意欲的に課題を追求しようとしている。 b：元禄文化が上方を中心に展開した背景を考察し，都市の発展が町人の経済的繁栄を可能にしたことについて適切に表現している。 c：元禄期の美術を代表する作品として，尾形光琳の屏風絵や『見返り美人図』などを鑑賞し，その特色を読み取っている。 d：幕藩体制の安定をもとに元禄期に学問の新傾向が生まれたことを理解し，上方を中心に花開いた文化について知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート レポート
	近代	４. 近代国家をめざして	○			○	a：明治期の小学校教育の様子に関心をもち，教育をはじめとする近代国家の制度について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：新たな教育制度や徴兵制の施行，地租改正の実行などに対して民衆の反発がおこった背景を考察し，その理由を自らの言葉で適切に表現している。 c：「学事奨励に関する被仰出書」や「徴兵告諭」の史料から，新政府が制度の導入に関して主張している内容を読み取っている。 d：維新の三大改革としての教育・徴兵・地租改正の目的について理解し，それぞれの政策に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

		５．殖産興業と文明開化	○			○	a：鉄道の開通や新橋ステーションの様子を描いた資料に関心をもち，文明開化の諸相について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：政府が積極的に近代化を進めた背景を考察し，世界が一体化するなかで交通や通信の面で西洋文化の移入が進んだことを自らの言葉で適切に表現している。 c：明六社に集まった人々の著作や当時の新聞記事などから情報を適切に読み取っている。 d：政府が近代産業の移植を進めた目的を理解し，文明開化とよばれる社会の変化の諸相について基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		６．明治初期の国際情勢	○			○	a：岩倉使節団の海外視察について関心をもち，明治初期の国際情勢について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：新政府が琉球や朝鮮に対して強圧的な態度をとった背景を考察し，その理由について自らの言葉で適切に表現している。 c：新政府が琉球や朝鮮に対して強圧的な態度をとった背景を考察し，その理由について自らの言葉で適切に表現している。 d：岩倉使節団の派遣の目的について理解し，沖縄県の設置をめぐる問題や清と朝鮮との関係についての基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		立憲国家の成立 １．自由民権運動	○	○		○	a：士族の商法を描いた錦絵に関心をもち，政府専制に対する批判が強まった点について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：国会開設を求める自由民権運動が全国的な広がりをもち活発化した背景を考察している。 c：松方正義によるデフレ政策がもたらした影響について，米の価格変動のグラフや自作地・小作地割合の変化のグラフから情報を適切に読み取っている。 d：自由民権運動が松方デフレの影響で衰退したものの，大同団結運動によって再燃した経緯を理解するとともに，運動のそれぞれの段階についての基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

		２．立憲政治の成立	○		○	○	a：海外における明治憲法の評価に関心をもち，憲法の制定過程や初期議会の動向について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：不平等条約の改正が実現した背景にあるイギリスの日本接近の理由を考察し，自らの言葉で適切に表現している。 c：大日本帝国憲法の条文をもとに，憲法の特色を適切に読み取っている。 d：立憲政治の成立にいたる過程と憲法の特色を理解し，初期議会における対立や条約改正交渉の進展に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		大陸政策の展開 １．日清戦争	○			○	a：明治期における日本人のアジア観に関心をもち，日清戦争の勃発をめぐる課題を意欲的に追究しようとしている。 b：日清戦争が勃発した背景を考察し，朝鮮をめぐる日本と清の関係について自らの言葉で適切に表現している。 c：日清戦争の関係地図を活用し，戦争の具体的な展開や朝鮮半島が主戦場となった事実について情報を適切に読み取っている。 d：日清戦争の勃発から展開，結果についての動向を東アジア情勢の推移のなかで理解し，日清戦争後の議会の動向に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		２.「中国分割」と日露戦争	○			○	a：日比谷焼き打ち事件の衝撃について関心をもち，帝国主義が広がるなかでおこった日露戦争について課題を追究しようとしている。 b：日露戦争がおこった背景を考察し，朝鮮・満州における利権をめぐって日露の対立がおこったことについて，自らの言葉で適切に表現している。 c：地図資料を活用して，日清戦争後の中国分割について各国の勢力範囲などを適切に読み取っている。 d：列強の中国進出から日露戦争にいたる動向を理解し，日本による韓国の植民地化について基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

3学期		３．近代産業の展開	○	○		○	a：過酷な労働条件で働いた女性たちの存在に関心をもち，日本における産業革命の進展について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：日本において資本主義が発達した背景を考察し，紡績業や製糸業の発達について自らの言葉で適切に表現している。 c：資本主義的な生産の発展を示すものとして，綿糸紡績業の発達をグラフから適切に読み取っている。 d：軽工業を中心に発達した日本の資本主義について理解し，その一方で深刻化した社会問題について基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		二つの世界大戦とアジア １．第一次世界大戦と日本	○			○	a：第一次護憲運動で国会をとりまく民衆の姿に関心をもち，日露戦争後の政治の動向について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：第一次世界大戦が日本に与えた影響を考察し，中国進出の動きや日本経済の発展について自らの言葉で適切に表現している。 c：第一次世界大戦中の日本経済の発展について，産業構造の変化のグラフからその特色を読み取っている。 d：桂園時代から護憲運動を経て政党内閣が成立する経緯を理解し，第一次世界大戦中の日本に関する基本的な知識を身につけている	定期考査 ワークシート
		２．新たな国際秩序と日本への影響	○			○	a：日本における普通選挙の実現に関心をもち，第一次世界大戦後の新たな国際秩序と日本への影響について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：中国や朝鮮で民族運動が展開した背景を考察し，第一次世界大戦後の新たな国際秩序について自らの言葉で適切に表現している。 c：吉野作造の民本主義の基本的な考え方を史料から読み取っている。 d：第一次世界大戦後の国際秩序や東アジアにおけるワシントン体制の特色を理解し，国内におけるデモクラシーの動向に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

		恐慌と軍部の台頭 １．恐慌の時代	○	○		○	a：五・一五事件や二・二六事件について関心をもち，軍部の台頭と中国侵略の経緯について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：満州事変が計画された背景を考察し，日本における恐慌の深刻化と社会不安について自らの言葉で適切に表現している。 c：1920 年代の中国情勢を示す地図や満州事変の要図を活用して，必要な情報を読み取っている。 d：昭和初期の恐慌が深刻化するなかで対中国政策が強硬なものに転じていく経緯を理解し，満州事変以後の政治や外交に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		２．第二次世界大戦	○			○	a：日中戦争下の日本軍の動向について関心をもち，日中戦争と国内体制の改編について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：日中戦争が長期化した背景を考察し長期持久戦体制を作る手段として国内体制が形作られたことを自らの言葉で適切に表現している。 c：日中戦争の広がりを示す地図から情報を適切に読み取っている。 d：日中戦争の拡大から第二次世界大戦の勃発にいたる流れを理解し，国内でめざされた新体制に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		３．太平洋戦争	○	○		○	a：沖縄戦で多くの非戦闘員が犠牲になった悲劇に関心をもち，太平洋戦争の勃発から終結にいたる経緯について追究しようとしている。 b：「大東亜共栄圏」に組みこまれた人々が抵抗した背景を考察し，日本が太平洋戦争に突入した経緯について適切に表現している。 c：太平洋戦争の推移について関連地図から情報を適切に読み取り，戦局の悪化にともなって窮迫した国民生活について写真資料などから情報を読み取っている。 d：日米交渉の失敗から太平洋戦争が勃発した経緯を理解し，戦争の実態や国民生活の窮迫，敗戦への道について基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート レポート

	現代の世界と日本	占領下の改革と主権の回復 １．占領と日本国憲法の成立	○		○	○	a：日本国憲法の成立について関心をもち，連合国軍による日本占領の特色に関して意欲的に課題を追究しようとしている。 b：財閥解体や農地改革，教育の民主化や新憲法の制定などが実施された背景を考察している。 c：日本国憲法の特色について，大日本帝国憲法との比較のなかで注目される部分に着目して条文の内容を読み取っている。 d：日本の占領政策における非軍事化と民主化の方針を理解し，次々に実施された諸改革に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		２．冷戦の開始と経済復興	○			○	a：現在まで続く朝鮮半島における南北の分断に関心をもち，アメリカとソ連を中心とする東西冷戦について意欲的に課題を追究しようとしている。 b：アメリカが日本占領の方針を転換した背景を考察し，東西冷戦が東アジアに及ぼした影響について自らの言葉で適切に表現している。 c：冷戦下の国際状況について，関係地図から情報を適切に読み取っている。 d：冷戦の開始が東アジアに大きな影響を与えたことを理解し，日本の経済復興と再軍備が進んだことに関して基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。